

大阪 あちこち

●歴史ロマンと新たな発見に出会うまち

—太平寺地区—

柏原市は歴史資源が豊富であり、歴史散策をしながらのウォーキングには最適のスポットです。今回は歴史的まち並みがある太平寺地区を紹介します。

●太平寺地区

柏原市は大阪ぶどうの発祥の地とされ、明治11年からの生産で山梨県の甲州ぶどうよりも古いとされています。

太平寺地区内にはぶどう農家として栄えた古民家が歴史的雰囲気をかもしだしています。

山裾にはぶどう畑が広がっており、収穫時にはぶどう狩り（9～10月頃）に訪れる来訪者で賑わっています。



地区内には石神社いわじんじやがあり、その境内には大阪府文化財（天然記念物）に指定されている樹齢七百から八百年といわれている楠や、地区に存在していたといわれる河内六寺の一つである智



識寺の塔心礎があります。この智識寺には聖武天皇が奈良東大寺大仏の見本とした大仏があったとされています。

また、在原業平が奈良から八尾までを通ったとされる歴史古道の「業平道」が地区内を通っています。

この他、地区内には特産物のぶどうを活かしたワイン工場もあり、散策ウォーキングを楽しむ要素ともなっています。

現在太平寺地区では、平成23年度の完成を目指し地区内の整備を進めており、本市の歴史ロマンの体験や新たな発見ができるかもしれません。

●柏原市健康保養センター「サンヒル柏原」

ウォーキングで奈良方面に歩いてゆくと、宿泊施設「サンヒル柏原」があります。最寄り駅はJR高井田駅であり、高台に立地しており、そこからは大和川、石川の合流地点を望み、柏原市を一望することができます。施設にはレストランがあり、太平寺地区のウォーキングでの休憩、食事に利用していただくこともできます。

みなさんのお越しをお待ちしております



▼お問い合わせ先▼

柏原市まちづくり部まちづくり課
TEL 072-972-1501（内線 3514）